

インパルスシーラー使い方

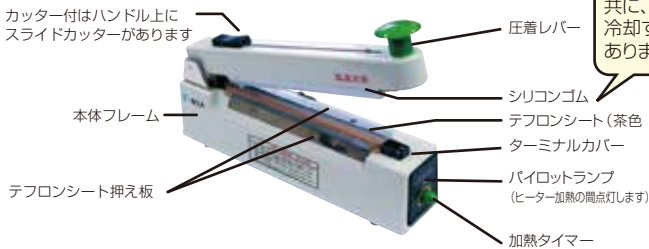
ここではBSAインパルスシーラーを安心して毎日お使い頂けるように正しい使い方をご紹介します。



シーラーの仕組み

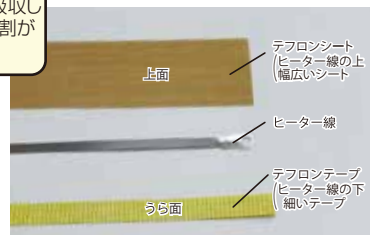
シーラーは熱で包装材を溶かして結合する簡単な仕組みの電気製品です。中央に走るヒーター線にわずかな時間通電し、その熱を利用してビニールを溶かし、紙にしみこませることでシールが行われます。シンプルな構造であるためトラブルの原因の多くは熱線が蓄熱することが原因で起こります。ここでは毎日安心してお使い頂けるための3つのポイントをご紹介します。

各パーツ名称 シリーズ共通



ヒーター線の熱を圧着すると共に、熱を吸収し冷却する役割があります

ヒーター部分のパーツ構成



溶けたビニールからヒーター線を保護し、ヒーター線の熱を均等にパウチに伝える役割があります。外すとパウチが燃えます

熱を発生するパーツです。

ヒーター線で発生した熱を本体フレームに吸収されることを防ぎ、効率よくパウチに伝える働きをします。

キレイなシーリングのポイント

① ビニール面を下にしてシーリング。 ② タイマーのメモリは2.5以下に。



滅菌パックをシーリングする場合、ビニール面を下にしてシール作業を行ってください。紙面を下にしてシーリングすると紙を通してヒーターの熱が伝わるため、通常より発熱量が多く必要となり、タイマー目盛を3以上に上げなくては、ビニールが溶けなくなります。結果として焦げはじめが早くなり、消耗品の寿命も短くなります。



タイマーの通電時間は、きれいにシールできる最短時間でセットします。滅菌パックの場合、**加熱タイマーのメモリは2.5を目安に。連続使用の場合は2.5以下**で十分シール可能です。タイマーメモリ(加熱時)を必要以上にあげるとシール不良(ビニールがトロケル、煙がでる、紙がコゲルなど)の原因となり消耗品の寿命も非常に短くなります。

③ クーリングタイムは3秒以上。

タイマーに付いているパイロットランプが点灯している間は加熱中です。0コマ何秒というわずかな時間で瞬間的に高い熱を発生し、ビニールが溶け、紙にしみ込むことでシールが行われます。**赤いランプが消えた後、3秒間はレバーを上げないでください。**この時間をクーリングタイムと呼び、紙にしみ込んだビニールがさめる時間を言います。クーリングタイムを3秒以上とらないで圧着レバーを上げると、キレイなシールが出来ずシール不良になります。またシールとシールの間隔は15秒ほどこの時間を空けてください。この時間を十分確保せず連続使用されると蓄熱し消耗品の寿命が短くなります。

圧着レバーのシリコンゴムはヒーター線で発生した熱を吸収して、早く冷ます役割があります。そのため焦げたシリコンゴムは早めに交換してください。

※通常の使用方法と異なり、焦げたシリコンゴムの上にテフロンテープを貼ってご使用している方の修理依頼が多く見られます。

シリコンゴムには何も貼り付けしないでください。

消耗品の交換手順

●テフロンシートの交換手順



①テフロンシート押さえ板の片側のネジを外します。反対側の押さえ板ネジはゆるめるだけでテフロンシートが外せます。※焦げたテフロンシートをそのままお使いになると、溶けたビニールがテフロンシートやヒーター線に付着しキレイなシールが行えません。早目の交換を行ってください。



②テフロンシートを片側にさしこみネジをかるく締めます。

③反対側の押さえ板の取付ネジを締め完了です。

注意
※テフロンシートが焦げて黒くなってきた場合や滅菌パックがシートにくっつくようになってきた場合は、早めに交換してください。
※テフロンシートは必ず純正品をご使用ください。

●テフロンテープの交換手順



①上の方法でテフロンシート、ヒーター線を外した後、テフロンテープの裏面シールをはがします。(古いテープの糊が本体フレームに残っている場合はアルコールなどで拭き取り凹凸がないことを確認してください。)

②新しいテープを貼り、ヒーター線、テフロンシートの順で取付して完了です。

注意
※テフロンシートを細く切ってテフロンテープの代わりにお使いにならない場合がありますが、故障の原因となります。テフロンシートはテフロンテープの代用になりませんのでヒーター線の下には使用しないでください。

●ヒーター線の交換手順

※テフロンシートを外さなければ断線がわからない場合があります。



①左の手順でテフロンシートを外します。テフロンシートを外すとヒーター線が出てきます。ヒーター線が切れていれば交換してください。②手前にあるターミナルカバーを外します。



③ターミナルカバーを外すとヒーター線を固定するネジがあるのでネジを外し、新しいヒーター線と交換します。※機種によりヒーター線は全て異なります。必ず取付されていたものと同じ長さ、同じ巾のヒーター線であることをご確認ください。



①②は共にヒーター線を止めているネジの締め付けが弱い場合、又はネジに付いているワッシャーを外して取り付けた場合に発生します。どちらの場合もヒーター線と本体の間に小さな火花が発生し、その火花でヒーター線を溶かしやすく断線してしまいます。

注意
ヒーター線取付ネジの締め付けが弱い場合、接点不良により火花が散ります。断線の原因となりますのでこの場合はネジを強く締め付けてください。

取付ネジに付いているワッシャーは必ず取り付けてください。接点不良により火花が散り断線の原因となります。

火花でネジが焦げている場合はネジを交換してください。

ご使用上の注意

テフロンシートがコゲル場合・「シワ」が発生する場合はご使用方法が正しくない場合があります。
ご使用の際は、以下の点をご注意ください。

1

タイマーの通電時間が長すぎる場合

過熱タイマーの目盛が「3」以上で使用されるとテフロンシートがすぐに焦げ始めます。ビニール面を下にしてご使用頂ければ目盛は「2.5」以下で十分シールが可能です。紙面を下にしていたり、使用済の滅菌パックを再使用される場合は3～4に上げなければシールが十分にできず、結果としてすぐに焦げてしまいます。ご使用の際は必ず目盛は「2.5」以下でお使い頂きますようお願い致します。

2

クーリングタイムが十分取られていない場合

この場合もテフロンシートの焦げがはやくなり、また、テフロンテープ、シートにシワが出てまいります。過熱タイマーの赤いパイロットランプが消えても圧縮レバーをすぐに上げないでください。約3秒程はレバーを下したままでお願い致します。(押さえつけておく必要はございません)

この3秒の時間でヒーター線で発生した熱をシリコンゴムに吸収させ溶けたプラスチックフィルムを紙にしみ込ませ固める大切な時間になります。これをクーリングタイムと呼びます。この時間が十分でないとシールがキレイにできない・焦げる・シワになる等の溶着不良の原因となります。消耗品の寿命も極端に短くなるなりますのでご注意ください。

3

ヒーター線がすぐに切れる場合

1.2の原因の他、ヒーター線がすぐに切れる場合、ヒーター線の取付ネジがしっかりと締めつけられていない場合があります。本体との接点不良により火花が散り断線の原因となるので交換の際はネジを強く締めつけて固定してください。

B.S.A.インパルスシーラーSB-205・305/SA-205HC・305HC

取扱説明書

2017.1.1改定

この度は、ビーエスエーインパルスシーラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本器を十分にご活用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、内容をご理解の上、ご使用
いただけますようお願い申し上げます。特に赤字部分は、重要事項です。

仕様

機種名	電圧 V	電力 W	シール幅 mm	シール長さ mm	重さ Kg	タイマーによる 加熱時間
SB-205 (カッター無)	100	260	5.0	200	2.6	0~3秒
SB-205HC (カッター付)	100	260	5.0	200	3.7	0~3秒
SB-305 (カッター無)	100	380	5.0	300	3.6	0~3秒
SB-305HC (カッター付)	100	430	5.0	300	4.7	0~3秒

タイマー 目盛り	加熱時間	必要な冷却時間 (クーリングタイム)
1	0.375秒	1~2秒
2	0.66秒	2~3秒
3	1.06秒	2~3秒
4	1.50秒	3~4秒

※クーリングタイムの間はレバーを上げない状態でヒーターを冷却して下さい。

重要 クーリングタイムを十分に取らなるとヒーターの寿命が短くなります。

滅菌用ロールパウチの場合
タイマー目盛りの目安は2~4です。お使いのパウチに合わせて最適な位置を調整下さい。

各部の名称

SBシリーズ共通



注意、警告、危険表示について

本取扱説明書の中で、人体や機械に損害を与える危険性のある箇所に、それぞれの表示で表しておりますので、記載事項をよくお読みの上、ご使用下さいようお願い申し上げます。

- 注意** 人体に軽傷や火傷を負ったりする可能性のあることを意味します。
- 警告** 人体に重傷を負ったり機械が破損する可能性のあることを意味します。
- 危険** 人体に重傷を負ったり死亡する可能性のあることを意味します。

- 電源は100V用の適切なコンセントをご利用下さい。
 コンセントに容量以上の電気製品を接続しますと、加熱によって発火することがあります。
- 本器やコンセントに水など液体をかけないでください。
 本器は電気製品です。水や液体をかけますと漏電、感電、火災の危険となりますので、絶対に水など液体をかけないようご注意ください。
- 電源コードを引っばってコンセントから抜かないで下さい。
 コードをおコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜くようにしてください。断線の恐れがあります。
- シール部に手を入れたりしないで下さい。
 本器はインパルスシーラーのため、手を入れて圧着レバーを押さえても発熱しなくなっておりますが、長時間使用しますと本体が熱くなり火傷の危険性があります。
- シール部に金属や異物を入れないでください。
 シール部に金属や布、紙などを挟んで、圧着レバーを押さえますとテフロンが焼損し、電気ショートや感電の危険性があります。
- 部品交換の時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。ヒーター線、テフロンシートの交換の時は、必ず電源コードをコンセントから抜いて作業を行ってください。
 特に、本体底板を開けるときは感電の恐れがありますのでご注意ください。
- 改造しないでください。
 本器は厳選されたパーツを使用して構成されております。改造したり、特殊な使用をされた場合は、保証いたしかねますのでご了承ください。

使用方法

シール作業

- ①ロールパウチを左手で持ち、**ビニール面を下にして**圧着レバーを押さえて下さい。
- ②赤ランプが消えてから**2~4秒後**に圧着レバーを上へ上げて下さい。
このクーリングタイムをとることにより、熱で溶着されたシール部が冷却され、きれいなシールができます。

注 クーリングタイムは最低でも2秒以上を必要とします。
短い間隔で連続してシール作業をしますとヒーターが断線します。
連続使用の場合は、最低15秒以上の間隔をあけてシール作業を行なって下さい。

- ③シールが完全にできているか確認して連続作業を行ってください。
※カッター付は、赤いパイロットランプが消えてから圧着レバーをおさえたままカッターをスライドさせシール袋を切断してください。

- ④加熱タイマーの設定時間が長すぎたり、長時間使用しますとヒーター部の温度が上昇します。この場合シール部分が線状になったり、ビニールが溶けてシーラーにくっついたりしますので、加熱タイマーの目盛りを少し下げてください。

注 必要以上に目盛りを上げますとヒーター線、テフロンシートの耐久時間が短くなりますので加熱タイマー目盛りはシールできる範囲で、なるべく短くしてご使用ください。滅菌パックの場合のタイマー目盛りの目安は2~4です。
ヒーター線、テフロンシートの損傷が早まりますので、タイマー目盛りの4以上でのご使用はしないで下さい。
(連続使用の場合は温度が上がりますので少し目盛りを下げてください。)

消耗部品の交換・メンテナンス方法

注 上部のテフロンシートと下部のテフロンテープは消耗品です。使用するに従い、両端(パウチの接触しない部分)からコゲはじめ、穴があいてきます。穴があきますと、ヒーター線が直接ビニールに触れきれいなシールができなくなります。穴があく前に新しいテフロンシートと交換して下さい。

ヒーター線の下に貼りつけてあるテフロンテープは上部のテフロンシートより耐久性がありますので、必要に応じて交換して下さい。

全機種共通

圧着レバーを持ち上げると作業がやり易くなります

1) テフロンシートの交換

4本のテフロンシート抑え板のネジを取り、両サイドの金属製テフロンシート抑え板を取ってください。

抑え板には上下がありますので取付けの際はご注意ください。
新しいテフロンシートをヒーター線の前後左右の中心に合わせて置き、テフロン押さ板を上から押さえつけます。次にネジで締め付けてください。

2) ヒーター線の交換

テフロンシートをはずし、ビス止めてあるヒーター線を取り除いてください。
新しいヒーター線を奥側の電極スプリングにネジ止めし、ヒーター線を手前に引っ張りながら本体ターミナル部にネジをしっかりと締め付けてください。

機種によりヒーター線は、全て異なります。必取付けられていたものと同じ長さ、同じ幅のヒーター線であることをご確認ください。

注 締めつけが弱いと火花が散ったり、通電不良の原因になりますのでご注意ください。

3) テフロンテープの貼り替え

テフロンシート、ヒーター線を外し、ヒーター線下のテフロンテープをはぎ取り、新しいテフロンテープを張り替えます。テフロンテープは粘着テープになっていますので黄色いハクリ紙をはがしてから**はりつけて下さい**。2枚が重ねて貼られている機種は、一番上の1枚を交換して下さい。

必ずこの順番でセットして下さい。
※ヒーター線がテフロンシートとテフロンテープでサンドイッチされる形になります。



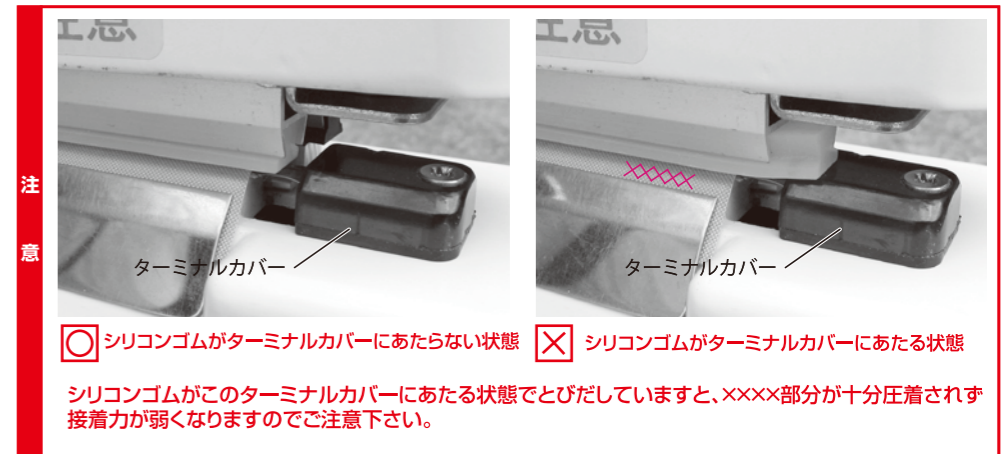
●上部テフロンシートはテフロンテープの代用にはなりませんのでヒーター線の下には、使用しないで下さい。

注意 テフロンテープを貼りませんとヒーター線の熱が十分上がらなくなりシールができなくなります。

交換の際は黄色いハクリ紙をはがしてヒーター線の下(本体)に貼り付けてください。機種によっては2枚のテープが貼りあわせてありますので通常は、上の1枚を交換して下さい。
下のテープが激しく焦げている場合は、同時に2枚を貼り合わせて交換して下さい。

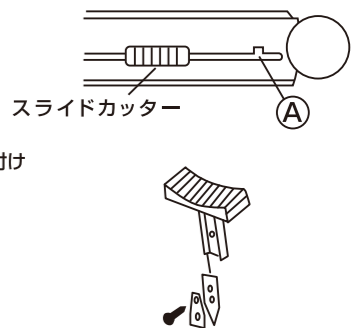
シリコンゴムがコゲた状態ですと圧着が弱くなりますのでこのような場合は交換して下さい。
4)シリコンゴムの交換

- ①圧着レバーを上へ持ち上げ、シリコンゴムを上部に引張って抜き取って下さい。
- ②新しいシリコンゴムを圧着板のレールに添わせて、上からはめ込み、圧着板の上下のサイズに合わせてください。



5) 刃の交換 (SB-205HC/305HCのみ)

- ①スライドカッターの↓印をAの部分の上へスライドさせ合わせる。
- ②カッターノブを上方向へ引き抜きます。
- ③ネジを取り、刃を抜き取って新しい刃を取付けてからネジを締め付けて下さい。最後に刃のカバーを取り除いて下さい。
- ④新品の状態では、刃に保護カバーが付いていますので、はがした後ご使用下さい。



キリトリ線

B.S.A.インパルスシーラー保証書

形式	B.S.Aインパルスシーラー SB-205/SB-205HC SB-305/SB-305HC	保証期間 6か月 (シリコンゴム・テフロンシート・テフロンテープ・ヒーター線は保証対象外)
お買い上げ日	年 月 日	
お客様 ご住所 ご芳名	〒	TEL
販売店		

取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合無償修理致します。

商品についてのお問合せ

株式会社ビーエスエーサクライ
〒468-0014 名古屋市天白区高島1-117-1 TEL(052) 805-1181 FAX(052)805-1182
http://www.bsa-sakurai.co.jp E-mail:contact@bsa-sakurai.co.jp